

---

---

# アーユルヴェーダ研究

---

---

第 31 号  
2001 年度版



日本アーユルヴェーダ学会

---

---

# アーユルヴェーダ研究 No.31

## 目次

---

★巻頭言		4
★第22回アーユルヴェーダ研究総会特集1		
特別講演		
インド思想とヨーガ	前田 専学	6
<hr/>		
★公開シンポジウム		
21世紀の医療にアーユルヴェーダの知恵を生かそう		
	司会 柴田 高志 谷田 伸治	13
食と健康	クリシュナ・U・K	14
予防介護とアーユルヴェーダ	高橋佳璃奈	18
ストレスに効果的なアーユルヴェーダ治療の数々	Dr.Palitha Serasinghe	25
子供の健康のしつけ	藤森 弘	29
<hr/>		
★会員投稿		
環境汚染について	佐藤 任	32
インド医学における医療化学と錬金術	佐藤 任	34
古代インドの医学と密教：石の薬と錬金術	佐藤 任	36
アーユルヴェーダハーブは多目的！		
『ドラビヤグナヴィドニャナ（薬草学）』	シーマ長沢	39
日本におけるアーユルヴェーダの現状と将来	上馬場和夫	42
古代中国医療とアーユルヴェーダ医学	和久田哲司	50
<hr/>		
★第22回アーユルヴェーダ研究総会特集2		
会員発表		
アーユルヴェーダに鍼治療はあるか	工藤 晴美	57
《アーユルヴェーダのラサーヤーナ効果（強壯法）》		
	イナムラ・ヒロエ・シャルマ	73
アーユルヴェーダと歯科臨床 ゴマ油及びターメリック油のうがい		
及びマッサージの臨床的効果について	舟久保せいこ	78
介護とアーユルヴェーダ	上田 裕美	79
シローダーラーニによる生理的变化		
	上馬場和夫 許鳳浩 田川美貴 吉岡りか子 廣田侑耶	81
脊椎側湾症に対する姿勢矯正法を使ったヨーガセラピー	河崎 幾恵	89
主に20世紀における「ヨーガに関する心理学研究」の概観	野坂見智代	92

---

---

---

---

## ★国際シンポジウム

スリランカにおけるアーユルヴェーダとその将来	Dr. Upali Pilapitita	110
イギリスにおけるヨーガ・セラピー	ロビンモンロー、マリオン・オコノール	119
YOGA THERAPY IN THE UK	Robin Monro and Marion O'Conner	124
ドイツのアーユルヴェーダ医学事情	Dr.Karin Kraft	136
アメリカにおけるアーユルヴェーダの現状と 理想的なコンセプトをもつインダスバリー・アーユルヴェーディックセンター	Dr.Talavani Krishna	139
ラテンアメリカにおけるアーユルヴェーダ その現状と将来の展望とゴール	Dr.Sergio Lais-Suarez	143
チベット医学体系 その歴史と亡命チベット政府における現状	Jampa Samten	145
オーストラリアのアーユルヴェーダの現状	Dr.Krishna Kumar	150
ドイツのアーユルヴェーダ医学情報	Dr.Karin Kraft	153
ヨーガの病気治療への応用	Dr.R Nagarathna	156
THERAPEUTICAPPLICATION OF YOGA 「アーユルヴェーダの現在と未来 特に21世紀におけるアーユルヴェーダの役割について」	Dr.R Nagarathna Dr.P.N.V.Kurap	167 181
内モンゴル衛生庁 社会福祉に対するアーユルヴェーダの役割	Dr. A.R.V.Murthy (インド)	183
現代医学におけるアーユルヴェーダの役割	Dr.Camillus Kevin Power	189
「アグニチクツァー」片麻痺脳卒中治療の新しい概念	Dr.Shreekanth U	193
第3ミレニアムにおけるヨーガの役割	Sushmma Udupa	196
ヨーガとストレス・マネージメント 心理・生理学的視点	Dr. W.Selvamurthy,Ph.D	198
YOGA AND STRESS MANAGEMENT PSICHO-PHYSIOLOGICAL CORRELATES	Dr. W.Selvamurthy,Ph.D	216
モンゴル伝承医学について	蘇和畢力格 (ソワピリク)	229

---

新入会員名簿 233

編集後記 234

---

---